

# 「社会生活基本調査」から見る静岡県民

～「社会生活基本調査」とは～

2月も終わりに近づき、少しずつ暖かくなってきました。年度の変わり目ということで、慌ただしい毎日を過ごされている方も多いと思います。そんな時間がない朝でも、朝食を欠かさず食べることが健康の秘訣とされています。

「平成23年社会生活基本調査」によると、静岡県は朝食開始時刻が6時58分となっており、日本一早いです。全国平均の7時10分と比較すると、12分の差があります。静岡県民は、朝の時間をゆつたりと取るのが好きなのかもしれませんが。

「社会生活基本調査」というのは、人々の社会生活の実態について調査した統計です。今回のコラムでは、「社会生活基本調査」を用いて静岡県民の特徴を分析してみましょう。

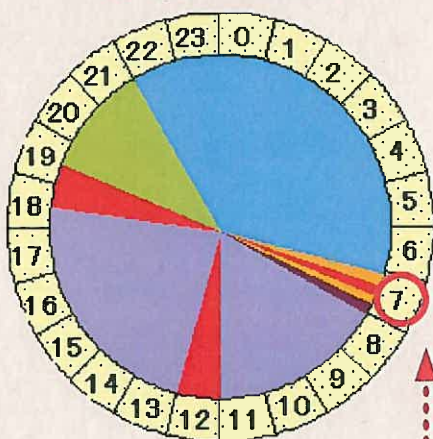
～時間帯別行動～

例えば、「時間帯別行動」を見てみましょう。ここでは、「社会生活基本調査 時間帯編」から、各時間帯で最も行動者率の高い項目を取り上げてグラフにしています。

平日について全国と静岡県を比較してみると、朝の時間の過ごし方に少し差があることがわかります。全国では、7時台の間に「身の回りの用事」「食事」「通勤・通学」と、ばたばたしています。対して、静岡県の7時台は「身の回りの用事」の他に「家事」が入ってきています。朝食を早く済ませて残った時間で「家事」を行っているようですね。

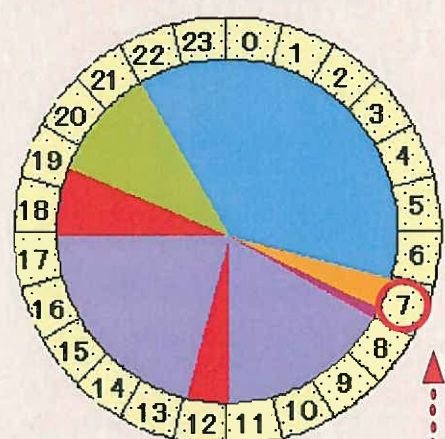


平日・全国



7:00～7:15 身の回りの用事  
7:15～7:30 食事  
7:30～7:45 身の回りの用事  
7:45～8:00 通勤・通学

平日・静岡県



7:00～7:45 身の回りの用事  
7:45～8:00 家事

睡眠
身の回りの用事
家事
仕事
食事
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
通勤・通学
休養・くつろぎ

出典：「平成23年社会生活基本調査 時間帯編」総務省統計局

## ～行動別平均時間～

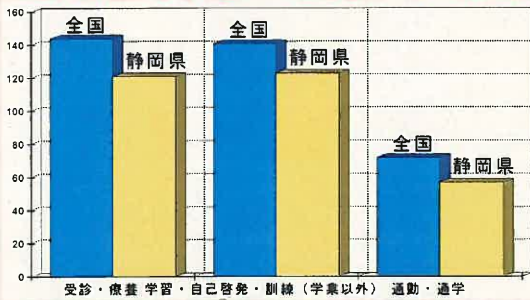
今回は、「社会生活基本調査 生活時間編」から「行動者平均時間」について見ていきましょう。これは、各行動を行った人の行動平均時間を見るものです。そこから、全国と静岡県の時間の差が大きいものをベスト3で出してみました。

週全体で見ると、「受診・療養」「学習・自己啓発・訓練（学業以外）」「通勤・通学」の順に差があることがわかります。「受診・療養」については、静岡県が23分短くなっており、健康な人が多いことが見て取れます。静岡県の「通勤・通学」の時間が短いのは少し意外ですが、だからこそ朝に「家事」を行うことができるのかもしれませんが。

日曜日に限定して見ると、「ボランティア活動・社会参加活動」「介護・看護」「学業」の順に差が大きくなっています。特に、「ボランティア活動・社会参加活動」は静岡県が全国よりも65分長く行っており、静岡県民はボランティア活動好きだと言えます。また、静岡県の「介護・看護」の時間が短いのは、静岡県民の健康寿命が長いことから納得できますね。



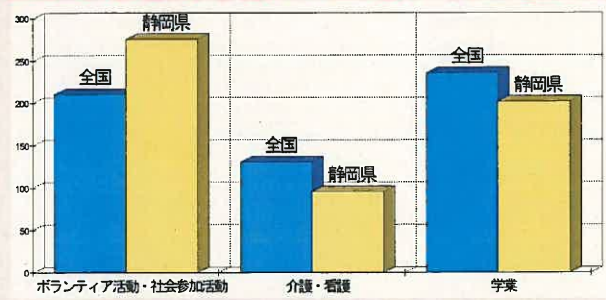
### 全国と静岡県の比較（週全体）



	1位	2位	3位
項目名	受診・療養	学習・自己啓発・訓練（学業以外）	通勤・通学
全国	144	141	72
静岡県	121	123	57

単位：分

### 全国と静岡県の比較（日曜日）



	1位	2位	3位
項目名	ボランティア活動・社会参加活動	介護・看護	学業
全国	211	131	236
静岡県	276	96	202

単位：分

出典：「平成23年社会生活基本調査 生活時間編」総務省統計局



### 「社会生活基本調査」から見た静岡県民の特徴

- ・朝食開始時刻が日本一早い。
- ・朝（7時～8時）に家事を行う人が多い。
- ・週全体で「受診・療養」を行う時間が短い。
- ・日曜日に「ボランティア活動・社会参加活動」を行う時間が長い。

### ～統計とは～

今回は、「社会生活基本調査」から静岡県民の特徴を分析してみました。「社会生活基本調査」は5年に一度行われる統計調査であり、平成29年内に「平成28年社会生活基本調査」が公表される予定です。

他の統計の中にも、分析を行うことで私たちの生活の実態を把握できるものが多くあります。統計は皆さんの生活を豊かにできる非常に有用なツールです。是非活用してみたいはいかがでしょうか。